

集落・町並みの調査と保存・活用

第5回 日・中・韓 建築文化遺産保存国際学術会議



国際シンポジウム (参加無料、要申込)

日時 平成25年11月13日(水) 13:00～17:50
11月14日(木) 9:30～15:00

場所 奈良文化財研究所 平城宮跡資料館 講堂

参加申込先

(メール・電話・FAXのいずれかで参加の意思をお伝えください)

奈良文化財研究所 建造物研究室

TEL 0742-30-6812 FAX 0742-30-6811

E-mail archi@nabunken.go.jp

※ 第1日目(11月13日)の日程終了後、同会場にてレセプションを催します(参加費未定)。ご出席いただきます方は、参加のご連絡時に合わせてお伝えください。

集落・町並みの調査と保存・活用

第5回 日・中・韓 建築文化遺産保存国際学術会議

奈良文化財研究所建造物研究室では、中国文化遺産研究院発展研究所および韓国国立文化財研究所建築文化財研究室と学術交流をおこなっており、2009年からは各国でシンポジウムを開催している。今年度は「集落・町並みの調査と保存・活用」をテーマに、奈良文化財研究所にて開催する。

多数の民家等を含む建造物群では、その調査や選定も多角的な視点が必要であり、また保存と活用の方法も多様であると考えられる。このような集落・町並みについて、三カ国の制度や取り組みの現状、保存・活用についての問題点を共有し、また新たな視点や解決策を見いだしたい。



会場案内図 (近鉄大和西大寺駅より徒歩10分)

予定プログラム

11月13日(水) 13:00～17:50 (受付開始 12:30)

Session 1 集落・町並みに関する保存制度

日本における集落町並み保存の制度と実務

(林 良彦：奈良文化財研究所 文化遺産部 部長)

雲山屯保護プロジェクトからみた古村落の保護

(瀋 陽：中国文化遺産研究院総工師弁公室 副総工師 研究員)

韓国民俗村の保存管理政策

(崔 柄潁：韓国国立文化財研究所 建築文化財研究室 室長)

Session 2 集落・町並みの調査と研究

日本における集落・町並みの調査と研究

(松下迪生：奈良文化財研究所 都城発掘調査部 遺構研究室 特別研究員)

湖南省高椅村と貴州省馬頭寨の文化遺産構成の認定方法に関する検討

(肖 東：中国文化遺産研究院文物保護工程・規画所 副研究館員)

民族村居住者の生活便宜施設のガイドライン策定研究

(池 成真：韓国国立文化財研究所 建築文化財研究室 学芸研究士)

11月14日(木) 9:30～15:00 (受付開始 9:00)

Session 3 集落・町並みの保存の実例

重要伝統的建造物群保存地区関宿の保存と活用

(嶋村明彦：亀山市 市民文化振興局 まちなみ文化財室長)

文化財的価値をもつ古村落の保護管理概況に関する分析

(党 志剛：中国文化遺産研究院科研・総合業務処 館員)

民俗村の活用および活性化方案の研究

(朴 贊珉：韓国国立文化財研究所 建築文化財研究室 学芸研究士)

総合討論